

平成25年度

施政方針

市川市長 大久保 博

演説に先立ち配布用として作成しましたので、当日の演説と表現その他に差異がありますことをご了承ください。

本日、平成 25 年 2 月市議会定例会の開催に際し、平成 25 年度の予算案をはじめとする諸案件の審議をお願いするにあたり、新年度の市政運営に臨む所信の一端を述べさせていただきます。

はじめに

市民の皆様の付託を受けて、市川市長に就任いたしましてから、早いもので 3 年が経ちました。振り返ってみますと、就任する前は、税収も堅調に伸びており、その増加分を市民サービス向上のための財源に充てることで、行政の運営がなされておりました。しかし、就任後からは、リーマンショックを起点とする景気の低迷が続き、少子高齢化による生産年齢人口の減少も重なって、市税収入は横ばいの状況にありました。一方で、道路、下水道などの整備や、魅力あるまちをつくり続けるための費用、さらに子育て支援などといった今日的なニーズに対応するための費用も確保していかなければなりません。さらに、社会福祉費や、老朽化する都市基盤の維持管理費が増大していくため、これからも厳しい財政運営が続いてまいります。

私は、市民に一番身近な基礎自治体であるからこそ、市民の生活に向き合い、将来の暮らしにつながる取り組みを実行していかなければならないと考えております。

そして、このような厳しい時代であっても、本市の歴史や文化、魅力ある街並みを確実に次の世代へつなげていく責務があると、心に刻み込んでおります。そのため、持続可能な市政運営を進めるうえで、その土台を築き直す、新たな行財政改革を強い意志で断行してまいります。

市政運営の基本方針

新年度は、平成の時代に入ってから四半世紀という、一つの区切りを迎えることとなります。平成の初頭にはバブル経済が崩壊し、その後の日本は、未だ消費や雇用が低迷し続けております。しかし、経済成長を支えてきた技術力や国民の勤勉性という土台は失われておりません。今こそ、時代の区切りを越えて、ステップアップしていかなければならないと思います。

そのため、本市の将来を見据えた取り組みを着実に積み重ね、生活の活力を心から実感できるまちを実現することで、この美しい市川で、市民が心豊かに質の高い生活を送っていただきたいと考えております。

そこで、新年度における市政運営に向けた、四点の基本的な方針を述べさせていただきます。

基本方針の一点目は、安心・安全なまちづくりであります。

東日本大震災は、都市の脆弱性を改めて認識させるとともに、平常時からの地域の連携や災害時における情報通信の確保が必要であることなど、様々な教訓を残しました。大きな犠牲と傷跡の代償である、これらの教訓を風化させることなく、強い危機感を持って、あらゆる災害へ備えてまいります。

また、すべての世代が安心を感じられるまちの実現に向けて、着実に市民の安全を確保する必要があります。

そこで、未来の市川を担う子どもを社会全体で支えるという考えのもと、子育て環境の充実に加え、子どもの安全確保に積極的に取り組んでまいります。

さらに、急速な少子高齢社会の到来に向けて、誰もが暮らしやすいまちづくり、保健、医療や福祉サービスの向上に取り組んでまいります。

基本方針の二点目は、ビッグプロジェクトの完遂であります。

就任の際には、費用のかかる大規模事業が複数進められておりました。しかし、事業を開始した時の財政状況とは大きく異なり、財政構造の弾力性を示す経常収支比率が上昇していく中で、必要な予算を確保することに大変な努力が必要になってきております。このような中におきましても、本市の将来を支える重要な事業を仕上げることは、私の使命のひとつであると考えております。

新年度には、優先順位の高いビッグプロジェクトも、いよいよ完了の時期になります。そこで、小・中学校を含む公共施設の耐震改修、クリーンセンターの延命化そして本八幡駅北口A地区市街地再開発について、必要な予算を確保し、全力を挙げて完遂させてまいります。

さらに、平成 27 年度末の完成に向けて、引き続き、都市計画道路 3・4・18 号の整備に取り組んでまいります。

また、東京ベイ・浦安市川医療センターについては、標榜する診療科目と病床数を計画に基づいて充実させてまいります。

基本方針の三点目は、質の高い住環境への取り組みであります。

本市は、住環境が良好な、都心に近い住宅都市として発展してきました。これからも、市民が快適な生活を送るためには、住宅とそれを取り巻く環境が良好であり続けることが大切です。

そのため、住宅における耐震性や防火性の向上、バリアフリーや省エネ化による機能向上など、住宅の高品質化に対して支援をしてまいります。

また、少子高齢社会と人口減少に備えるため、新年度は、質の高い住環境の形成に向けて組織体制等の強化を図り、将来に資する責任あるまちづくりを積極的に進めてまいります。

さらに、住み慣れたまちを彩りや優しさにあふれた、快適で魅力あるものにするため、「ガーデニング・シティ いちかわ」を通じて地域の交流を広げてまいります。

基本方針の四点目は、財政基盤を築き直す行財政改革であります。

様々な行政課題を乗り越えるためには、特に実効性に留意して行財政改革を進めることが重要であると考えております。

これまで、業務改善、職員数の適正化、民間活力の積極的な活用などを行い、行政運営の効率化を図ってまいりました。

今後は、いかなる環境変化にも耐え得る強固な行財政基盤を確立する必要があります。このことから、市政戦略会議の答申を踏まえ、実効性の高い行財政改革大綱を策定してまいります。

これに基づき、歳入の確保に努めるとともに、改革の成果を得るため、公共施設の民営化などの経営手法、人事給与制度改革、そして老朽化が進む公共施設管理の最適化に向けた検討など、困難な改革に正面から取り組んでまいります。

新年度は、これまで経験したことがない程の厳しい財政状況にあります。しかし、将来のまちづくりに向けて、行財政改革に迅速果断に取り組んでまいります。

将来都市像の実現に向けて（重要な施策）

基本方針に基づき取り組む、新年度の重要な施策につきましては、就任後スタートさせた、総合計画第二次基本計画に定めた目標、「安心で快適な活力のあるまち」に沿って、教育委員会所管の事項も含め、述べさせていただきます。新年度の施政方針については、特にお伝えしたい取り組みに集約したため、これまでのものと構成が変わりますことをご理解いただきたいと思います。

（１）安心なまちづくり

まず、安心なまちづくりについてであります。

市民が安心して生活を送るためには、生命や財産など、大切なものを守るための安全対策が十分に講じられ、心身ともに健康で安心できる環境が必要です。

そこで、今後起こり得る首都直下地震に対して、被害を減らす備えと、震災時には的確かつ迅速に対応するための危機管理機能をさらに強化する必要があります。

震災時に、発生が予想される帰宅困難者への対策については、被災状況や交通機関の運行情報など、必要な情報を迅速に提供していくため、地域事業者との連携を強化してまいります。

あわせて、業務継続計画を策定し、災害時においても、市民生活を支える市の重要な業務を確実に継続させ、災害対応業務の実効性を確保するとともに、速やかな復旧につなげてまいります。

また、防災拠点にもなる市役所本庁舎については、耐震強度の不足と施設の老朽化により、速やかな整備が求められております。このため、庁舎整備基本構想を策定し、基本設計・実施設計に着手いたします。財源として、庁舎整備基金の積み立てを継続し、財政負担の平準化にも配慮してまいります。

災害時においては、正確な情報を伝達することが特に重要であります。このため、防災行政無線のデジタル化を機に、防災無線で放送した内容を確認できる電話の自動応答装置を導入してまいります。さらに、ケーブルテレビや FM 放送局、市公式 Web サイトなどへ、放送内容を同時発信するためのシステムを構築してまいります。

消防指令業務については、千葉北西部消防指令センターにおける 6 市の共同運用に併せて、デジタル化した消防救急無線の運用を開始してまいります。

中央自動車道笹子トンネルの天井板落下事故でも指摘されたとおり、老朽化した施設の点検や、事前の予防対策は、極めて重要であります。そのため、橋りょうについては、長寿命化修繕計画に定める優先順位に基づき、実施設計を行ってまいります。また、上部を歩道として利用している排水路は、建設後 30 年以上経過していることから、老朽化や破損状況を調査し、予防保全管理に取り組んでまいります。

女性の社会進出が進む中で、育児期間中であっても、安心して働ける環境が求められております。就任以来、増加する保育需要に対応するため、新たな保育園の建設や既存の保育園の建て替えを進め、これまでに 521 名分の定員を増やしてまいりました。新年度には、3 園の開園と建て替え 1 園、そして平成 26 年度にも 4 園を開園することで、さらに 550 名分の定員枠を拡大してまいります。その後も、待機児童の状況を勘案し、地域の実情に合わせた保育園整備に取り組んでまいります。

一方、簡易保育園については、利用している保護者の経済的負担を軽減するとともに、園運営費を補助することで、安全で安心な保育の確保を促してまいります。また、引き続き、家庭保育員による柔軟な子育て環境の整備にも取り組んでまいります。

こうした取り組みにより、総合的に子育てを支援してまいります。

さらに、平成27年度から実施が見込まれる子ども・子育て支援新制度については、本格施行に向けて、迅速に対応できるよう、子ども・子育て支援会議を設置し、必要な検討をしております。

次に、女性と子どもの健康についてであります。

任意予防接種である子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンについては、引き続き全額を公費負担で行っております。

また、子ども医療費助成制度については、昨年12月から現物給付の対象を中学修了前まで拡大したところですが、これを新年度も継続しております。

また、子どもの教育環境については、学校にライフカウンセラーを配置し、児童生徒の悩みに適切に対応しております。

あわせて、学校で発生する諸問題に適切に対応していくため、教育委員会内に学校安全安心対策担当室を設置し、専門的知識に基づいた助言等を受けられる体制を整え、いじめ問題などに迅速に対応しております。

また、通学路の安全については、今後も注意を促す路面標示などを行い、児童生徒の交通安全に取り組んでまいります。

平成24年から、団塊の世代の方が順次65歳に到達することにより、いよいよ本格的な高齢社会となっております。65歳を過ぎてもなお、地域の中で、自己実現に向けた活動をされている方が多くいらっしゃいます。

高齢者への施策は、年齢による区分ではなく、個人の身体状況やニーズなどに応じて実施していくことが求められていると思います。そのため、高齢者が自立した生活を送るとともに、安心して暮らせるよう、地域や社会全体で応援しております。

そして、住み慣れた自宅で、安心して医療や介護のサービスを受けられる社会が求められております。そのため、医師、看護師、ケアマネージャーなど多くの専門職が協働し、包括的かつ継続的に提供される在宅医療を進めてまいります。

認知症高齢者等の増加により、重要性が増す権利擁護への取り組みの一環として、成年後見制度の周知、相談を実施するなど、支援をしております。

新年度末で廃園する稲荷木幼稚園については、発達障害児の支援センターや、保育クラブ等の施設に改修するための設計に着手し、平成27年度開設に向けて準備を進めてまいります。

続いて、健康都市の実現に向けた、市民の健康づくりについてであります。

健康診査については、受診率の向上と受診者の身体的負担の軽減を図るため、県内で初めてとなる血液検査による胃がんリスク検診を実施し、胃がんの早期発見に努め、速やかに医療へとつなげてまいります。

また、自殺予防については、市川市自殺対策計画を見直すとともに、引き続き精神疾患などに関する正しい知識の啓発に努め、こころの健康づくりを推進してまいります。

(2) 快適なまちづくり

次に、快適なまちづくりについてであります。

市民生活の快適性は、心身の健康とともに、高機能で美しい都市基盤や住環境、最先端の技術などによりもたらされます。

魅力あるまちをつくる「ガーデニング・シティ いちかわ」については、幅広い視点のもと、シティセールス、環境対策、そして地域経済やコミュニティの活性化など、期待される様々な事業効果をさらに高めてまいります。

そのため、市川駅、本八幡駅、行徳駅などの駅周辺や主要な道路沿いには花壇を設け、行きかう人々が心安らぐ空間を創出してまいります。

さらに、花と緑に満たされた魅力あるまちづくりの一環として、市川市緑の基金を通じて、市民や事業者が行うブロック塀から花壇への造り替えに対して助成するとともに緑の空間を創出するため、駐車場の緑化に対して助成してまいります。また、モデル事業として、緑に配慮した駐車場を大柏出張所に増設してまいります。

また、ガーデニングコンテストや、まちなかガーデニングフェスタを開催するとともに、種まきから花を育て、育った花の一部をご近所に配る協働花づくり事業を実施してまいります。これらの事業に併せて、ガーデニングサポーターをはじめ、市民や事業者と協働で、まちの魅力を高め、誰もが「住んでみたい」「住み続けたい」と感じるまちになるよう、取り組んでまいります。

一方で、本市は、高度経済成長期から住宅都市として急速に発展してきたことにより、当初に開発された住宅地は、既に30年以上が経過し、住民の高齢化も進んできております。これからも、住み慣れた地域で快適に暮らすためには、安心な住環境の確保、住宅の適正な管理及び再生、長期間使用可能となる良質なストックの形成など、住生活に関する総合的な施策展開が必要となります。

このため、街づくり部に住環境整備課を設置したうえで、住生活基本計画を策定し、良好な住環境に資する施策を進めてまいります。

その取り組みとして、既存の住宅の防災対策や高齢社会に備えたバリアフリーなど、安全で快適な住宅へリフォームするための改修工事費用に対して助成してまいります。

また、適正に管理されないマンションや空き家等は、地域の住環境の質の低下につながるおそれがあります。そこでマンションについては、管理組合に専門家を派遣し、適正な管理が進むよう支援してまいります。さらに、空き家等については、管理不全な状態を未然に防止するための対策を検討するとともに、市川市空き家等の適正な管理に関する条例に基づき、所有者等に対して、適正な管理を促してまいります。

都市計画道路 3・4・18 号浦安鎌ヶ谷線は、本市の重要な南北道路としての役割だけではなく、周辺道路の渋滞緩和、流域下水道の整備などに寄与いたします。平成 27 年度末の完成を目指し、引き続き重点事業として進めてまいります。

あわせて、新規整備路線として、外環道路に接続する都市計画道路 3・4・12 号北国分線及び都市計画道路 3・6・32 号市川鬼高線の事業を推進してまいります。

また、平成 27 年度末には、外環道路の供用開始が予定されています。

この進捗に合わせて、北部地域の公共下水道の本格的な整備に着手いたします。

公共下水道のうち雨水については、排水区を縦断する外環道路の整備との調整を図りながら、浸水対策として、市川南排水区の大和田ポンプ場などを整備していくとともに、市川南ポンプ場の事業用地を取得してまいります。

既存の下水道施設については、事故の未然防止とライフサイクルコストの最小化を図るため、長寿命化計画に基づき、菅野終末処理場、真間ポンプ場などの実施設計を行ってまいります。

これら公共下水道事業につきましては、財政状況を踏まえ安定した事業運営が必要になります。このことから、現状の課題を明らかにしたうえで、下水道中期ビジョンを策定し、今後、概ね 10 年で取り組むべき施策を設定してまいります。

まちの快適性を実感する生活道路の整備については、狭あい道路の対策として、市が管理する幅員 4 メートル未満の道路において、土地の所有者が道路拡幅部分を市に提供する場合には、市で分筆や整備を行うことも始めてまいります。また、通行する自動車が、思いやりを持って譲り合えるスペースとなる、まごころ道路については、新たな整備箇所の公募など、市民の協力をいただき、設置箇所を拡充してまいります。

街の賑わいは、人と人との交流により生まれてまいります。主要駅周辺の歩道を中心に、段差解消や平坦性の確保等、バリアフリーを進め、快適な歩道空間となるように取り組んでまいります。

スマートフォンを活用した情報配信については、フェイスブック同様の機能に着目し、地図情報を活用した生活情報や災害時の情報を相互発信できるシステムを構築してまいります。また、民間情報サイトに接続ができるようにして、利便性を高めてまいります。さらに、行政間の広域的な連携の実現についても検討してまいります。

(3) 活力のあるまちづくり

重要な施策の締めくくりは、活力のあるまちづくりについてであります。

企業の活発な経済活動と産業の振興は、地域の活力の源となります。

開発力のある中小企業者であっても、商品化するための製造ラインや販路を確保することが困難な場合があります。そのため、中小企業者が、その優れた技術をアピールする場となる「ビジネスプラン発表会」を開催し、企業間の技術連携や販路拡大の機会を創出してまいります。

また、資金調達への支援として、市制度融資取扱金融機関に原資の一部を預託するとともに、資金の融資を受けた事業者に対しては、利子補給制度を継続して、中小企業の安定経営を支援してまいります。

市川漁港については、地震や津波に対する施設の安全と漁業活動の拠点としての機能を確保するとともに、市民と漁業者との交流や、市民が海に親しめる場の創出を目指し、関係機関と協議を進めてまいります。

日本の女性の教育水準は、国際的にトップレベルを維持しております。社会の活性化や経済成長には、更なる女性の活躍が必要であるといわれるものの、他の先進国と比較して女性管理職の割合が低い状態にあります。そのため、本市では、女性の視点や能力が施策に活かされるよう、審議会等附属機関の委員や管理職ポストへの登用に積極的に取り組んでまいります。

活発な人の交流や活気ある地域活動は、消費行動を促し、地域経済を刺激いたします。

商店会が行う販売促進活動やイベントなどに対して補助することで、地域資源である商店会が活気あるものとなるように支援してまいります。

また、地球温暖化対策となる太陽光発電システム設置への助成や、安心して快適な住宅に資するリフォームへの助成については、地域経済の活性化にもつなげるよう、取り組んでまいります。

さらに、地域ブランドの構築は、本市が持つ様々な地域資源の付加価値を高め、産業の振興につながると考えます。また、市の魅力を発信してまちのイメージが向上すれば、地域の活性化にも結び付いてまいります。

このことから、商標登録された「市川の梨」や、新たに開発された和洋菓子の「いちかわバラ物語」をはじめとする本市の特産物を様々なイベントなどを通じて、強くアピールしてまいります。

また、文化とスポーツも地域活動として重要であります。そのため、本市を創作活動の場として活躍した文人の足跡を多くの人に知ってもらうために、生涯学習センター内に文学ミュージアムを開館いたします。そして、本市ゆかりの文学や映像文化等に関する資料を展示し、開館記念企画展を開催してまいります。

スポーツについては、市川市スポーツ振興基本計画を評価し、時代の変化や市民のニーズに対応したスポーツ施設の整備及び基本方針となる人・組織・地域づくりを進めてまいります。

本八幡駅北口周辺は、再開発の一部完成により、新たな市民や、京成電鉄本社の移転をはじめとする企業等の入居により、地域に活力が生まれることが期待されます。このように、新たなまちづくりは、地域経済に活力を吹き込みます。

このことから、武蔵野線沿線のまちづくりについては、市川大野駅から船橋法典駅間の新駅構想を含めたまちの将来像の立案に向け、スマートシティの概念を取り入れた計画的な土地利用の可能性を検討してまいります。

また、市街化調整区域の一部の地域については、開発許可基準を見直し、道路の築造を認めることで、地域特性に応じた良好な住環境の形成に取り組んでまいります。

さらに、塩浜 2 丁目については、海辺の玄関口として人々が集まる賑わいのあるまちに向けて、土地利用計画の協議を関係機関と進めてまいります。

外環道路は広域交通道路として、市内外の様々な地域と交流が活発になってまいります。

このため、道の駅や仮称市川北インターチェンジに隣接する国分川調節池、小塚山を中心とした大規模な公園など、外環道路周辺の施設を活かして、本市の情報発信や地域の活性化につなげてまいります。

本市には「ガーデニング・シティ いちかわ」をはじめとして、魅力ある事業が多く、こうした事業は、市外へも発信する力を持っております。市川に生まれ育った方、訪れたことがある方、さらに全国に住む多くの方に対して、このまちに関心を持ってもらえるよう、シティセールスしてまいります。

以上、新年度における重要な施策とさせていただきます。

むすび

市長就任から 3 年間は、市税の伸びが期待できない中で、ビッグプロジェクトが次々に本格化したことなどにより、難しい行財政運営が求められた時期がありました。

このような中で、新年度の予算編成では、職員給与の削減のほか、内部管理経費を大幅に見直したうえで、全ての事業を総点検し、市民生活の安心・安全を守るための事業へ重点的に配分いたしました。

また、総合計画に位置づく実施計画事業は、3 年計画の最終年度となるため、全体のバランスの中で優先的に配分いたしました。

新年度の予算といたしましては、一般会計では、前年度当初比 5.0%減の 1,271 億円とし、また、特別会計全体では、前年度当初比 8.2%増の 825 億 4,500 万円としたところであります。

一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた予算総額といたしましては、前年度当初比で 0.2%の減、2,125 億 8,000 万円とした次第であります。

今後、本市の人口は、緩やかな減少とともに、少子高齢化が急速に進んでまいります。総合計画第二次基本計画の目標年度となる平成 32 年度には、15 歳未満の子どもは約 1 万 7,000 人減少し、65 歳以上の高齢者は約 3 万 1,000 人増加すると推計したところあります。

そのような社会を見据えながら行政運営で取り組むべきことは、過去と未来や人と夢といった点と点をつないで将来のまちをつくり続けることでもあります。

過去から長い年月をかけて取り組んできた外環道路や都市計画道路などの幹線道路は、今、まさに市川の骨格となるべく、姿を見せ始めております。

これからは、交通の利便性や流通機能の向上とともに、経済や環境への効果、下水道の普及などを通じて、将来の市川につながってまいります。

私たちは、子どもたちとこれから生まれてくる命の健やかな成長を大切に見守ります。そして、本市が培ってきた歴史と文化を継承します。

これからの世代が愛着と誇りを持って、本市のまちづくりを担って欲しいと考えております。

子どもは地域から守られ、高齢者はその子どもから生きがいと笑顔を受け取る、そして、全ての世代が、思いやりとやさしさを持って結ばれている、そんな人と夢をつなぐまちを目指してまいります。

これからも、市民発の行政を掲げ、市川市及び市川市民のために、全力で働いてまいります決意でございます。市民の皆様ならびに議員各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。新年度の施政方針といたします。